

日時 9月26日(月) 20:00~22:15
 会場 丸紅棟 1210研修室
 出席チーム 全17チーム
 欠席チーム 無し
 議事録 JFE商事 本幡 大橋 山田(記)

議題

内容

※以下、敬称略させていただきます。

■ 議題

- ①リーグ戦進捗報告
- ②今後のスケジュール
- ③運営要綱(チャンピオンズカップ)
- ④グラウンド費用負担について

■ 出席者名

役員会	金田会長	1部	三菱商事	井上、笠間	2部	豊田通商	沼波、佐久間
	ナジブール		伊藤忠商事	富内、岡田		日本ユニシス	弓崎、横溝
	横田		JFE商事	本幡、大橋、山田		阪和興業	田代、有明
	荒瀬		丸紅	北川、二宮		大倉商事	上田、大谷
	内田		三井物産	桜井		長瀬産業	倉地、南
			住友商事	西村		住金物産	伊藤、辻澤、富田
			兼松	清水		日立ハイテク	漆崎、川上
			岩谷産業	村松、安東		蝶理	小池、トビ
			双日	戸田、佐々木			

■ 配布資料

1. 商社リーグ概要(チャンピオンズカップ要綱)
2. 商社リーグ 2011年度星取表、審判フェアプレー得点ランキング
3. 商社リーグカレンダー
4. 前回幹事会議議事録
5. 商社リーグ運営組織概念図、副幹事要綱(JFE商事)

*会議冒頭で金田会長が今回の会議の目的を確認。

- “もしドラ”が意とするのは? (『もしも高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら』)
- 三菱商事(笠間) : 分からない
- 三井物産(桜井) : マネージメントについて

- ・ 前回会議にて何故“もしドラ”の話をしたか?
- JFE商事(山田) : 経営と運営の違いの説明の為
- 豊田通商(沼波) : 自分が今ある組織の中で、主体的に運営者となっていくか
- 三菱商事(井上) : 経営学をいかに駆使して組織運営を行っていくか

・ 【“もしドラ”の内容】 : 金田会長
 野球部のマネージャーが野球の知識が無くても、経営の知識があれば組織力をあげることができる。
 野球を通じてマネージメントとは何かを考え、野球の知識が無くても経営学の方で甲子園に行けるというストーリー。
 ↓
 商社リーグにはサッカーの実力の無い人もいる。 ⇒ 経営学を勉強し、チーム力を向上するべき。
 ↓
 自分のチームを経営及び運営をし、ひいては商社リーグの経営及び運営をしてほしい。

- 何の為に株式会社が存在するのか? 株式会社は何に気をつけなければならないか?
- 日本ユニシス(弓先) : 株主、従業員、
- 日本ユニシス(横溝) : 従業員家族
- 阪和興業(田代) : 顧客

- ・ 商社リーグで例えると
- 顧客 : チーム
- 社員 : リーグ
- ※参加費は、出資として考えて欲しい。

株式会社の経営者と同様、相反する利益の追求を行って欲しい ⇒ 自分のチームのことだけでなく、リーグのことも考えてほしい!

- 幹事会議は年に2回しかないで、代表者会議参加前には会議議事録は是非見て来て欲しい。読むのは5~10分。

- ・ 何故配布資料を用意したか?
- ①商社リーグ幹部からのサポート(前回会議を欠席した方の為に、前回の内容を把握してもらうため)
- ②リーグがどういう方向で動いているか理解してもらうため。HPにのっておらず、情報共有したい。
- ③今年は改革をしたい! Innovation!・Going concern・「継続」

- 組織が継続的に存在し続ける為にドラッカー(組織)に必要なもの2つは?

- 長瀬産業(倉地) : GOING CONCERN、利益
- 兼松(清水) : 成長
- 住友商事(西村) : 顧客満足、需要を掴む
- 三菱商事(笠間) : 顧客を想像する

- ・ 【経営の神様】
- コトラー : マーケティングの第一人者
- innovation + marketing

- ・ 運営と経営の違い
- 岩谷産業(村松) : (運営)既存の仕組みスキームの中で利益を追求すること、(経営)仕組みスキームを変革しながら利益を追求すること

- ・ 楽天/三木谷社長(元一ツ橋大学テニス部)
- 全社員に対して、「もし自分が経営者ならあなたはどう動きますか?」と常に問い続けている。

- ・ “もしドラ”同様に商社リーグも経営し、成長していくことが重要とされる。

- ・ 商社リーグ運営に関する、書類提出期日等については守って欲しい。ボトルネックには是非ならないで欲しい。最後はやれるかどうか。物事を深く考えて、発言して、行動に移す。
- このポリシーを持っている人は?
- 日本ユニシス(横溝) : 分からない
- 兼松(清水) : ガンジー

- ・ 【メラビアン法則】
- ジェスチャー、声のトーンだけで相手に良い印象を与える。服装や態度でも雰囲気が変わる。

- 未だ試合がほとんど進んでいない(試合消化率:1部-17%、2部-18%)が、グラウンド提供社のおかげで、10月、11月で十分試合消化できる。

①リーグ戦進捗報告
丸紅(北川)

次葉へ続く

②今後のスケジュール

- 10/7 (金) 11月試合不可日、グラウンド申請登録
10/24 (月) 代表者会議
10/31 (月) 幹事会議
※代表者会議、幹事会議については当初予定より、1週間後ろ倒しとする。(上記日程にて決定)
(過去4、5年で一番の改革を行う為。⇒ カレンダー最新版を丸紅より、発債。)
※次回代表者会議にて、蜘蛛の巣グラフ(：パフォーマンスの評価をフェアに行う)を配布予定
※11月開催予定試合スケジュールにつき、10/15までに丸紅より発表する。(商社リーグカレンダー内に記載)

- 前回(10月分)の不可日及びグラウンド申請できなかったチーム : 日本ユニシス、阪和、住金物産、長瀬産業

- ・ 10月不可日及びグラウンド申請遅れたチーム/理由/改善点
日本ユニシス(横溝) : 毎年担当者変わるので慣れていない。引継が不十分であった。対応策: 前任者のフォロー体制構築する。
阪和興業(有明) : 担当者が変わったことが要因。対応策: 役員3名でフォローしあう。
⇒役員会(横田) : フォロー体制をしっかりとすべき
⇒住友商事(西村) : 阪和、ユニシス、住商にて新砂グラウンドの確保に動いているのだが、グラウンド登録が遅れたのでは?
グラウンド抽選結果、9月に入ってから ⇒ 申請日を第0営業日に変えられないか?
⇒金田会長 : グラウンド提供は「仕組み」の話であり、検討すべき。
長瀬産業(倉地) : キャプテン一人に負荷がかなりかかっている。対応策: 負荷軽減の為、役割分担をした。
別件、昨年度末フットサルの際、参加チームの把握が粗く、皆様に迷惑をかけた。
住金物産(伊藤) : キャプテンに一任していた。対応策: チームで共有し、幹部で意識付けをしていく。
⇒役員会(内田) : 何をしなければいけないか、紙に記載し、共有化しては?

※遅延理由がどのチームも似ている。
理由は同じで。。。という問題を解決する為に、ちょっとした工夫で解決する。

- ・ 丸紅(北川)にて、副幹事フォーマット作成(例としてJFE商事配布)。
いつまでに誰が何をやらなければならないかを明確にし、チーム内での整理や引継にも役立つ。
同様に。各チーム内のそれぞれの業務についても作成した方が良いのでは?

- ・ 過去大倉商事にて、審判服がなく減点3という事例があった。
大倉商事(上田) : 対応策として、審判服を2セット用意し、車と電車に分散して会場に持参することとした。

- ・ プロ野球(バッター)では、2.5割(普通)、3割(一流)、3.5割(超一流)とされる。
普通と一流、一流と超一流は、僅差の中で評価される。⇒ つきつめよう!

- ・ 次回の代表者会議では提出遅れが無いように。

■ 商社リーグへの「学生参加」について

- ・ 都リーグは学生参加可能に変更。理由: 他(県)リーグが既に取り組んでいる為。
※1部は学生OK。2部以下1試合3人。

- ・ 何故、社会人リーグなのに、学生参加が可能がすすんでいるのか?
三井物産(桜井) : 日本サッカー協会がJリーグをTOPにピラミッド構造化を図るため

・ 【商社リーグの価値・位置づけ/学生の参加について】

- 長瀬産業(南) : 学生○。独自色を出すのであれば×、チーム数が減っているのであればOPEN化も検討すべきなのは?
- 蝶理(小池) : 学生×。商社リーグの名前ありき。
- 双日(佐々木) : 学生×。現在2年目で、昨年1年間の流れがよい。
- 伊藤忠商事(岡田) : 学生×。全てのチームが商社という同じ立場であることから、運営が上手くいく。
- 丸紅(二宮) : 学生×。学生を巻き込んで仕組みをつくるのはむずかしい。
- 役員会(内田) : 学生×。商社だけで行うのが醍醐味。商社業界の中でNO.1を決めるのがよい。ライバル社に負けない。
- 伊藤忠商事(宮内) : 学生×。サッカーだけでなく、ビジネスマンのプロとして経営を勉強しにきている。学生はフィットしない。
- 阪和興業(田代) : 学生○。全社の内定者で1チームをつくるのはどうか?
- 日本ユニシス(横溝) : 学生○。学生により高い志しをもってもらう。同条件での参画。
- 三菱商事(井上) : 学生○。学生というステータスで排除すべきでないが、今のチーム数が適度でなはないか。
- 金田会長 : 質が高ければチーム数が増えても問題ない

- ・ 【rule of thumb】金田会長
成功するには、TOPの企業であるためには、FIRST MOVER ADVANTAGEを駆使する為に業界で初めてのことをやる
⇒ ニッチな世界をやる
あえてニッチな世界でやるのは価値が高く、最高のマーケティングテクニック。パイオニアはコレに軸足を置いている。
商社マンのプロを目指すのであれば、ニッチな選択を

- ・ 学生参加について多数決
学生なし : 35人
学生あり : 3人
⇒ 内定者以外の学生参加はなしとの方向で決定。

③運営要綱について (チャンピオンズカップ)

■ 主幹事、副幹事の業務フローを作成中

- ・ 改革: オペレーションを分割するだけでない。
チャンピオンズカップの設立。⇒ マーケティング
チャンピオンズカップの運営要綱作成中。わかりづらくなるため、商社リーグとは別に作成する。
※リーグ上位チームのみ(1部5チーム、2部3チーム)参加。消化試合を無くす。
※オペレーションのクオリティをあげる。
※リーグ終了後、1月、2月で実施すること決定。
※日程は決め内で、不可日申請無くす。参加辞退の場合は、繰上げ参加。

・ 改革によって生じるもの

- 伊藤忠商事が1年度の間に2度幹事を行うこととなる。⇒ 伊藤忠商事(宮内) : 幹事やる。中心メンバーで決定。
他商社と格が違うことを見せ付けたい。

④グラウンド費用負担

■ オペレーションをしていく上で、グラウンドは3本柱に入る重要な課題である。

- ・ 開幕戦のグラウンドの印象は?(スポンサー:朝日新聞社)
住友商事(西村) : かなりきれいなグラウンド
豊田通商(沼波) : 整備させていた
三井物産(桜井) : 人工芝でやりやすい
- ・ 開幕戦のカメラマンはJリーグ専属カメラマン。
朝日新聞はサッカーを強力にサポートしている。(社会人スポンサーでは、商社リーグのみ。)

- ・ チャンピオンズカップだけは全て朝日新聞にスポンサー負担で行えるよう、ワーク中
決勝戦に解説者(例:元日本代表)を呼ぶ等、特別感を出せるよう検討中

- ・ 今後の展開として
銀行リーグのチャンピオンを招待する等、様々な独立系リーグのチャンピオンを呼び、リーグの垣根を越えることも検討中。

■ 最後に

- 岩谷産業(安東) : 金田会長からのお話を聞いて、商社リーグを追及したい。一つ一つの小さい積み重ねが重要と感じた。
チームとしては一部で優勝を目指したい。
- JFE商事(本幡) : サッカーの面でモチベーションがあがった。リーグ、カップ優勝を目指したい。
- 日立ハイテク(川上) : 会議の重要性を感じた。今後も副幹事をしっかりやる。